

なかやま

議会だより



No.34

July 2025

発行日：令和7年7月15日

発行：中山町議会



中山中学校2年職業体験

コメ作りを知る

目次

6月
定例会

6月定例会 採決状況	3
令和7年度一般会計補正予算	4
町政を問う 一般質問	6～11

議会活動報告	12～17
なかやま大好き！まち・ひとインタビュー	19
連載シリーズ「楽しい仲間たち」	20

6月定例会

6月定例会が開催されました

6月定例会が、6月11日から13日までの会期で開催されました。
提出された議案は、一般会計補正予算、条例の制定、協定の締結、財産の取得についての計6件で、すべて原案のとおり可決されました。

その議案に私は賛成、私は反対

6月定例会 採決状況		○賛成	●反対	⊕欠席	⊖退席										
議案番号	議案名と主な内容	1 佐東幸治	2 須貝勝司	3 田宮昌幸	4 多田慎二	5 斎藤眞一	6 鈴木徹雄	7 渡辺博文	8 村山隆	9 渡邊史	議長 鎌上徹				
議第33号	令和7年度中山町一般会計補正予算(第1号)について 歳入歳出予算それぞれ7642万1000円増額し、総額を60億3342万1000円とする	○	○	○	○	○	○	○	○	○	*				
34号	中山町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例の一部を改正する条例の制定について 自治体と医療機関等をつなぐ情報連携基盤の全国運用開始が予定されており、当町でも対応できるようにするため条例改正を行うもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	*				
35号	中山町手数料条例の一部を改正する条例の制定について コンビニエンスストア等での証明書交付手数料について条例改正を行うもの(ピックアップ↓)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	*				
36号	地域活性化起業人制度による派遣に関する協定の締結について 町のDX推進における課題解決に取り組むため、Siranto(シラント)合同会社と地域活性化起業人制度による派遣に関する協定を締結するもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	*				
37号	令和7年度中山町一般会計補正予算(第2号)について 歳入歳出予算それぞれ600万円増額し、総額を60億3942万1000円とする	○	○	○	○	○	○	○	○	○	*				
38号	財産の取得について(ピックアップ↓) 地方自治法第96条第1項第8号並びに議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第3条の規定により、議会の議決が必要となるため	○	○	○	○	○	○	○	○	○	*				

*注：議長は採決に加わりません。

ピックアップ 議第35号・議第38号から

Q【議第35号】コンビニ交付の手数料はいくらになるの？

A コンビニ等での証明書交付手数料は、現在役場窓口での交付手数料と同額の450円です。さらなる利用者の拡大を目的に、7月15日から手数料を300円に引き下げます。

Q【議第38号】どんな財産を購入するの？

A 避難所において衛生的な生活環境を確保するための簡易トイレとして、組立トランク型自動ラップ式トイレ35セット等(1242万7800円)を購入します。災害時に、水を使わず衛生的にどこでも使用できるトイレです。※700万円を超える財産の取得は議会の議決が必要となります。

4月臨時会

臨時会が開催されました

4月14日に臨時会を開催し、令和6年度一般会計補正予算と条例2件の専決処分を承認し、1件の協定締結について可決しました。

トピックス 民間の知見を町の観光分野に活用

町の観光分野における課題の解決に取り組むため、株式会社森谷浩二広告事務所と「地域活性化起業人制度」による人材の派遣に関する協定を締結することについて、可決しました。



昨年の「元祖“全国”芋煮会in中山」森谷氏が全体の運営に協力した

ピックアップ 地域活性化起業人制度ってなに？

三大都市圏またはそれ以外の政令市等に所在する企業が、協定書に基づき社員を地方自治体に一定期間派遣します。そこで、社員がそのノウハウや知見を活かしながら地域独自の魅力や価値の向上等につながる業務に従事することで、地域の課題解決を図る制度です。派遣にかかる経費につい

ては、国からの支援が受けられます。全国的に活用実績は増加しており、令和6年度には871名が起業人として活動し、自治体DXや観光振興、地域経済活性化、地域産品の開発など、さまざまな分野で活躍しています。(総務省HPより)



その議案に私は賛成、私は反対

4月臨時会 採決状況		○賛成	●反対	⊕欠席	⊖退席										
議案番号	議案名と主な内容	1 佐東幸治	2 須貝勝司	3 田宮昌幸	4 多田慎二	5 斎藤眞一	6 鈴木徹雄	7 渡辺博文	8 村山隆	9 渡邊史	議長 鎌上徹				
議第29号	令和6年度中山町一般会計補正予算(第12号)についての専決処分の承認について 歳入歳出予算それぞれは変更せず、総額を60億6890万8000円とする特別交付税額の確定に伴い、一般会計予算の補正が急きょ必要となったため、地方自治法第179条第1項の規定に基づき専決処分したもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	*				
30号	中山町町税条例の一部を改正する条例の制定についての専決処分の承認について 地方税法等の一部改正に伴い、急きょ施行を必要としたため、地方自治法第179条第1項の規定に基づき専決処分したもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	*				
31号	中山町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定についての専決処分の承認について 地方税法等の一部改正に伴い、急きょ施行を必要としたため、地方自治法第179条第1項の規定に基づき専決処分したもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	*				
32号	地域活性化起業人制度による派遣に関する協定の締結について ※トピックスに記載のとおり。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	*				

*注：議長は採決に加わりません。

令和7年 中山町議会 4月臨時会日程表

期 日	会 議	備 考
4月14日(月)	本会議(全員協議会)	議第29号～32号 各件毎提案理由の説明、質疑、討論、採決

令和7年 中山町議会 6月定例会日程表

期 日	会 議	備 考
6月11日(水)	本 会 議 (全員協議会)	一般質問 報告
6月12日(木)	休 会	議案調査
6月13日(金)	本 会 議 (全員協議会) (議会活性化特別委員会) (総務文教常任委員会) (厚生産業常任委員会)	議第33号～38号 各件毎提案理由の説明、 質疑、討論、採決 議員派遣

議会の録画配信をしています

パソコンやスマートフォンからご覧いただけます。

中山町議会 録画配信 [検索](#)



過去の議会だよりをご覧ください！

お持ちのスマートフォンやタブレットで以下の二次元コードを読み取ると過去の議会だよりをご覧いただけます。

また、紙面での議会だよりは議会事務局に保管しています。ご希望の方は事務局までお問い合わせください。(議会事務局 TEL023-662-4370)



町公式HP内にある
議会だよりの閲覧は
こちらから



電子書籍閲覧アプリ
「SideBooks」のページは
こちらから



※「ブラウザから開く」とすれば
アプリのダウンロードは不要です。

令和7年度一般会計補正予算(第1号)について

6月の定例会で、第1回目の予算の見直しを行いました。その結果、歳入歳出予算にそれぞれ7642万1000円を増額し、総額で60億3342万1000円とするものです。見直しの主な内容は次のとおりです。

トピックス

1 町有財産の売り払い収入を 基金へ積み立て

歳入増額 2100万円 **財産売払収入**

歳出増額 2100万円 **公共施設等総合管理計画推進事業**

旧中原町営住宅跡地を売却した収入を、公共施設整備基金へ積み立てし、公共施設の整備および維持修繕への備えを進めるものです。



トピックス

2 調整給付における不足額を増額

歳入歳出それぞれ増額 4318万円 **定額減税補足給付金給付事業**

昨年定額減税が実施され、減税しきれない方へは調整給付金が給付されました。ただし、年内に転入した方、新たに就職した方、扶養する家族が増えた方など、年末調整や確定申告等で所得税額が確定したことにより給付額が不足する方へ差額を給付するために、必要な予算を増額するものです。

トピックス

3 10月2日は各小学校で芋煮会を実施

歳出増額 25万円 **地産地消推進事業**

10月2日の「芋煮会の日」に、各小学校で芋煮会を開催するにあたり、必要となる予算を増額するものです。

令和7年度一般会計補正予算(第2号)について

6月の定例会で、第2回目の予算の見直しを行いました。その結果、歳入歳出予算にそれぞれ600万円を増額し、総額で60億3942万1000円とするものです。見直しの主な内容は次のとおりです。

トピックス

1 学校給食センターの洗浄室設備を更新

歳出増額 633万8000円 **学校給食センター施設管理事業**

学校給食センターの洗浄機系統エコキュート2台を更新するにあたり、工事費の増額および監理業務を委託する必要があるため、そのための予算を増額するものです。



4ユニットあるエコキュートのうち
2台を交換します

一般質問

一般質問とは、議員が町の事務・事業の執行状況や将来に対する考え方などの報告や説明を町長などに求め、町が町民のために適切な町政運営を進めているかを議員が問いたすものです。

質問方法は、効率的な議会運営を目的に、質問する議員があらかじめ議長に質問の趣旨などを知らせる「通告制」を採用し、議員はその内容に沿って質問します。中山町議会では、質問時間は答弁と合わせて40分以内としています。

5人の議員が一般質問

6月定例会では、5人の議員が一般質問を行い、将来の町政について活発な議論を展開しました。

質問者(発言順)

渡邊 史 議員 (7ページ)

- 小中学校および幼保施設等における保護者への引き渡しについて

佐東 幸治 議員 (8ページ)

- 協働によるまちづくりを

畠田 慎二 議員 (9ページ)

- 産学官連携と情報収集で防災力の向上を

田宮 昌幸 議員 (10ページ)

- 観光振興施策について

村山 隆 議員 (11ページ)

- 副町長・教育長に問う ～町の課題は～
- 「芋煮会の日」について

ここが聞きたい！

町政を問う

小中学校および幼保施設等における保護者への引き渡しについて

問 悪天候時の臨時休校や登校時刻の判断と、在校時に悪天候となった場合の対応はどのように行われるのか。

教育長 各学校が協議して決定しており、状況に応じて臨時休校や登校時刻の繰り下げ等を判断している。各学校は、立地や下校時刻が異なるため、雨天時などは各学校が判断し、引き渡しや下校時刻の繰り下げ等の対応を取っている。決定後は、学校を通じて文書またはメールで保護者に通知している。

問 登下校の対応基準をホームページに掲載し、保護者が事前に確認できるようにできないのか。

教育長 保護者が早めに準備できるような周知方法は必要であると考え、今後、町校長会議で引き渡しを含めた対応基準等について整理し、保護者には教育長名で文書を配布し、また、町や学校のホームページに掲載するなど、周知方法を考え実施する。

問 小学校での引き渡し訓練の実施状況は。

教育長 長崎小では隔年、豊田小では毎年実施としている。令和7年度は両校とも実施予定である。

問 中学校で引き渡し訓練が実施されていない家庭も多い。

理由は。

教育長 危機管理マニュアルはあるが、引き渡し訓練は行ってこなかった。水害等の災害時の引き渡しは、指定避難所である校内にとどめることが安全であるという判断からであった。今後は町校長会議での協議を進める。

問 保育園・幼稚園・放課後児童クラブでの対応はどうか。

町長 避難訓練は定期的に実施しているが、日常的に保護者が送迎しているため、保育園、児童クラブでは引き渡し訓練は行っていない。ながさき幼稚園では毎年5月に実施している。

問 中学校と小学校、幼保施設などにきょうだいがいる家庭も多い。

く、宮城県などで合同引き渡し訓練が行われ、原則年長の子から迎える自治体が多い。町内でも複数施設による合同訓練が必要と考えるが、その実施状況は。

町長 現在は実施していない。施設ごとに災害リスクや役割が異なるためであるが、引き渡し時の混乱を避けるため、手順の明確化は重要で、合同訓練の必要性についても協議・研究する。

問 訓練後の保護者の声や教職員の備えについてはどうか。

教育課長 保護者からの意見収集については実施の確認ができていない。教職員は異動があるため、町の災害特性を理解する機会の創設を検討している。

問 防災安全対策室と教育課や健康福祉課との連携はどう進められているのか。



総務広報課長 防災教育連絡協議会を年1～2回開催している。今後はその場を拡充し、訓練や情報共有の実効性を高めるよう協力して進めていく。

「私の思い」

町内での引き渡し事例が増える中、複数施設での同時対応も十分想定される。学校と町や保護者が連携し、より実践的な知識と訓練で備えることが重要である。





佐東 幸治 議員

ことについて質問する。
「未来創造ミーティング」は令和6年度に何度開催されたのか。
また、令和7年度は行わないのか。

げて推進し、町民の継続的な健康づくりを図っている。また、歩きやすい道路等の環境整備など、それぞれの担当課が連携しながら進めている。

教育長 小学校では、中山町内を歩きながら、公共施設に関する学習を行い、中学校では、「貢献・自立」の目標のもと、社会貢献について考える学習を行っている。今後、その意識を持つ高校生や大学生が、ボランティアなどに参加する機会

を広げて、つなげていきたい。
「私の思い」
「人と人とのつながる協働のまちづくり」を、未来創造ミーティングを持続させ町民と話し合いながら実践していきたい。

協働によるまちづくりを

問 第6次中山町総合発展計画が策定されて5年目に入った。

P D C A サイクルに沿った取り組みでは、「基本計画の前期5年で実績の評価を行い、必要に応じて計画の見直しを行う」とあり、評価、改善が目前に迫っている。

前期5年を評価、改善する上でも、基本目標6「人と人とのつながる協働によるまちづくり」とあるように、町民と交流し、話し合うことが非常に重要だと思っている。

このことから、次の

町長 令和6年度は7月に1回開催し、外部講師を招いて、人口減少をテーマにワークショップ形式で実施した。

問 同大綱には、「課間連携に向けた調整役の設置検討」とあるが、調整役の設置はできているのか。

町長 調整役の設置はせず、基本的には事業の主担当課が調整役を担っていく。

問 第7次中山町行政改革大綱では、基本目標1の基本項目（4）に「庁内連携の強化」とあるが、庁内（課間）連携が必要な事業とはどういうものを指しているのか。

町長 例えば「歩きやすいまちづくり・歩いて健康のまちづくり」の取り組みは、町を挙

問 町長は日頃から「まちづくりは人づくり」と言っているが、新型コロナウイルスなどで、多世代間の交流が遮断されつつある今、まちづくりにおいて、継続的に「公（おおやけ）の意識」を育む方法が必要だと思うが、教育長の考えを伺う。



昨年実施された未来創造ミーティングの様子

産学官連携と情報収集で防災力の向上を

問 近年多発する大雨による災害や地震などを背景に、企業や大学による防災課題解決のための研究や技術開発が進んでいる。当町の課題解決は全国の先進事例となり得ることから、こうした研究や実証実験の受入れを積極的に進めてはどうか。

町長 仙台B O S A I・T E C H は、産学官連携のマッチングが期待できる。一方で、防災関連事業の創出が主目的の1つであるという点から、参画にあたっては当町の役割や実証実験による負担・影響を十分に考慮する必要がある。また、防災分野へのデジタル技術導入に際しては、周辺自治体との相互活用を見据えた広域的な視点も欠かせない。

そのため現段階では、参画市町の状況把握や隣接市町との情報交換など、必要な調査を進めていきたいと考えている。

都などで開かれる規模の大きい展示会に防災担当の職員だけでなく、各課の職員も参加できる機会をつくってはどうか。



横浜市内で開催された「ぼうさいこくたい」は約400団体が出展、2日間で1万6,000人が来場

るなど、防災事業への取り組みを進めた。

町長 令和6年度は、仙台市で開催された「震災対策技術展」や、東京都で開催された「自治体・公共Week 2024」に職員が参加し、新たな防災システムや資機材に関する知見を得る機会となった。これを踏まえ、浸水被害対策としての活用が期待される「止水板」の試験的導入を行った。また、数時間先までの高精度な気象予報を確認でき、的確な避難情報等の提供に寄与することを目的に、「ウェザーニュース」サービスを導入す

問 展示会などを通して直接話を聞いたりすることで関係性をつくることも重要ではないかと思う。今年は新潟市で開催される「ぼうさいこくたい」や東京

問 県内では防災関連の展示会が少なくないので、いろいろ工夫しながら取り組んでほしい。

拠点を活用して展示会を開催し、町民の方にも多くの防災用品や技術を見もらう機会を設けてはどうか。

町長 展示会開催には、企画、出展者募集、周知、集客、スタッフ確保、会場設営など、多くの工程を要することが想定され、このことを考慮すれば、実施は困難である。そのため、コンセプトを整理したうえで、集客が見込めるイベントと連携したり、町防災訓練等を通じて防災関連情報に触れてもらう機会を創出していく。

「私の思い」
防災に関する技術は日々進化している。課題解決の近道は常に最新の情報を得ることなので、いろいろ工夫しながら取り組んでほしい。



た だ しん じ 議員



たみや まさゆき
田宮 昌幸 議員

観光振興施策について

問 イベントに関して、ポスターなどでの周知が遅いと感じる。町としての周知開始基準はあるのか。

町長 町としての基準は設けていない。1、2か月前を目安としていますが、今後は少しでも早く周知できるように努めたい。

問 旧柏倉家住宅関連のイベントについて、主管課を観光協会管轄の産業振興課に移譲する考えはないのか。

町長 「紅花まつり」

や「ひな祭り」は、柏倉家の歴史文化や生活の一部を表す催し物と考え、歴史的な魅力を伝える貴重な機会として、教育課が主管となっている。主管課の移譲については、文化財の保護と観光振興のバランスを考慮しながら、最適な運営体制を構築していく。

問 集客イベントとして、多くのお客様を誘致し、町の認知度向上・魅力発信をしていく必要があると思うが、どのように考えているのか。

産業振興課長 集客イベントとして、以前、出店などを行ったが、観光色を強めることにについて議論になったこともあり、観光に特化した考え方や歴史を伝えていく考え方のバランスを、皆様の意見を聞

いて模索していきたいと考えている。

問 国の重要文化財である旧柏倉家住宅を、郷土の誇りと思ってもらうためにも、町民からイベントに参加・体験してもらう必要があると考える。イベント招待券の配布など、町民の誘致策についての考えはあるのか。

町長 これまで「旧柏倉家住宅周遊ウォーク」を町民入館無料とするなど、来館の促進を図ってきた。誘致策として、招待券を町民へ配布することも有効な手段と認識している。今後、より多くの町民に来館を促し、文化財に触れてもらう効果的な方法を調査研究していく。

問 町の観光イベントについて、「町民参加

型イベント」として、もっと町民が参加し楽しめる企画が必要ではないのか。

産業振興課長 昨年度の「元祖全国芋煮会」では、町民からの企画がいくつかあった。一部の高校生からは今年も企画から参加したいという要望があり、さまざまな力を集結して創り上げていきたい。

問 観光振興の発展は町・観光協会・民間の連携強化が必要と考える。具体的な連携強化策はあるのか。

町長 5月1日に観光分野の地域活性化起業人が着任した。現在、同起業人の指導・助言を受けながら、まずは観光協会の組織強化に着手している。それぞれの役割分担を明確化し、三者の連携体制を



参加・体験できるイベントを

「私の思い」
中山町には、『お宝』がいっぱいあると感じている。

子どもたちが自信をもって語れるようなまちづくりを期待したい。

また、里いもを町の特産品として奨励する予定はないのか。

町長 当町における里芋農家の数は21戸、作付面積は約3・1ヘクタール、収穫量については27・7トンと推計される。

産業振興課長 令和4年度から、経営所得安定対策の産地交付金の支援対象作物の1つとして設定し、令和6年度は、10アール当たり3万円を交付している。

「私の思い」
新、副町長・教育長には、現場を大事にして行政課題に取り組んでいただきたい。

「いも煮・芋煮会」を中山町の「お宝」として、その生産から消費まで町民一丸となって盛り上げましょう。

副町長・教育長に問う ～町の課題は～

行政課題について
問 新副町長に期待することは。

町長 町政を推進するためには、課題の共有を基本とし、第6次総合発展計画の遂行が全てである。副町長には私の補佐役としての任はもとより、政策の策定と実施、住民とのコミュニケーション、庁舎内各部署との連携強化など、地域住民のニーズや問題点を把握し、町の施策に反映させる具体的なプランを立てる役割を担っていただく。

問 副町長の考える町政の課題は何か。

副町長 これまで課長として長く財政運営にあたってきた。その観点から、近年、財政調整基金の残高が少なくなってきたことが気になっている。あらゆる部門からの補助金等を活用し、町財政の健全化に注力したい。

教育行政について

問 新教育長の考える教育行政の課題は何か。

教育長 小学校においては、児童数が緩やかな減少となっており、長崎小・豊田小の両校舎がともに、築40年以上経過、老朽化が進んでいる。

また、児童の実態が多様化しており、個別の支援が必要な児童が

増加している。今までの一斉指導型の学習形態から、個の興味・関心や進度に応じて、多様な他者と協働して深い学びにつなげていくことが大事になっていく。少子化に対応していくためには、小・中学校がこれまで以上に連携を深めていく必要がある。小・中学校9年間を見通した小中一貫した教育の方向で研究や研修を重ねていきたい。

社会教育において、これまで地域づくりの大きな力となっていた団体において、少子高齢化への進展やライフスタイルの多様化などにより、加入者数の減少、それに伴う組織・運営力の低下などの課題が顕在化している。

また、中央公民館や体育館、プールなども老朽化が進み、設備の

「芋煮会の日」について

問 「芋煮会の日」の町全体での取り組みは。

町長 今年10月2日に、長崎・豊田両小学校で、芋煮会を開催することになっている。一方、町民全体への広がりとはい点ではまだ十分ではなく、さらなる工夫が必要であると認識している。

問 中山町における里いもの作付け状況は。



むらやま たかし
村山 隆 議員

議会活動報告

議会のしおり・研修・提言——議会改革の取り組み前進中

議会活性化特別委員会報告（委員長：須貝勝司）

6月13日、議会活性化特別委員会が開催され、第1・第2小委員会でこれまで議論してきた以下の項目について協議を行いました。

【報告事項】

- ・オンライン会議および文書等のデジタル化・オンライン化等の例規整備：全国町村議会議長の標準規則改正等を参考に整備を進める。
- ・議員報酬：次回以降協議する。
- ・子ども議会：引き続き検討していく。
- ・傍聴規則の見直し：全国町村議会議長会による標準規則改正内容を参考に見直しを検討する。

【決定事項】

- ・町民アンケート調査：7月に実施する。
- ・議会のしおり（大人向け資料）：アンケートと一緒に配布、本会議傍聴者への配布、ホームページへ掲載を行う。
- ・ハラスメント対策研修：7月8日開催（講師 山形県町村議会議長会参与 武田裕樹氏）
- ・タブレット研修：8月6日開催（講師 ピースデザイン工房 高橋圭哉氏）
- ・政策提言書の提出：12月を目途に提出を検討。内容は常任委員会で協議する。

議会活性化活動レポート

皆さまの声を、議会に——町民アンケート実施のご案内とお願い——

中山町議会では、「議員のなり手不足の解消」「町民にわかりやすく開かれた議会運営」「議会機能の強化」「身近で信頼される議会」を目指し、町民の皆さまの声を町政に反映させるため、7月1日から18日まで、「議会活動に関する町民アンケート」を実施しています。

対象は、中山町に住所のある18歳以上の方の中から、無作為に抽出された700名の方です。対象となった方には、郵送でご案内とアンケート用紙をお送りしています。回答方法は、郵送、窓口への提出、WEB回答の3つの方法から選べます。

ご意見をぜひお寄せください。皆さまの声は町の未来をつくる大切な力となります。

ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

※アンケートの結果は、集計のうえ「議会だより」などでご報告します。

※ご回答いただいた内容は、統計的に処理され、個人が特定されることはありません。

また、このたび「議会のしおり」を新たに作成しました。議会のしくみや活動内容をわかりやすく紹介しており、アンケートと一緒に配布しています。また、町公式ホームページにも掲載していますので、ぜひご覧ください。



議会のしおりの閲覧はこちら



議会と町民がつながり、一緒に考える

議会活性化特別委員会報告（委員長：須貝勝司）

4月23日に、庄内町と遊佐町で、議会活性化特別委員会の行政視察研修を行いました。研修内容は次のとおりです。

庄内町 議員のなり手不足解消のための取り組み

庄内町では、平成30年6月の町議会議員選挙で定数割れとなったことをきっかけに、議員のなり手不足を解消するための取り組みが始まりました。

まず、平成31年3月に「なり手不足解消調査特別委員会」が設置され、調査・検討が進められました。令和元年10月には、議員6名と町民6名（うち推薦4名、公募2名）による「なり手不足解消検討会議」が立ち上げられ、議員のあり方や課題について意見交換が行われました。検討会議は令和2年5月までに10回開催され、同年6月には、特別委員会と検討会議で出された意見を、なり手不足解決策として提言しました。

提言は、議員定数と報酬に関して「定数を4人減らし12人に、報酬を6万5000円引き上げ、月額28万円とする」というものでしたが、議会の総意を決めるため全議員で協議した結果、

「定数を2人減らし14人に、報酬を2万5000円引き上げ、月額24万円にする」との方針が賛成多数で決定されました。

その後、特別職報酬等審議会から議会の結論を尊重した答申が出され、議員定数を14人、議員報酬を月額24万円とする条例改正が行われました。

そのほか、予算・決算特別委員会で町民の方を参考人として意見を聞く会や女性議会など、町民との対話を重視した取り組みも行われています。

令和4年6月の町議会議員選挙では、定数14人に対し20人が立候補し、選挙戦となりました。

今回の研修を通じて、議会と町民がつながり、一緒に考えることの大切さを改めて感じました。中山町議会でも、意見交換会など、町民の皆さんと、ともに考える場をこれからも大切にしていきたいと思っています。

遊佐町 少年議会の取り組み

遊佐町では、平成15年から、町内在住の中高生および町内在学の高校生を対象に「少年町長」と「少年議員」を直接選挙で選ぶ「少年議会」を実施しており、若者が参加できるまちづくりを進めています。

少年議会では、選挙公報の作成や実際の投票を行うほか、政策提言に加え、約45万円の予算を使って政策を実施できる点も大きな特徴です。昨年度は、スポーツイベントやアート交流イベント開催など、若者のアイデアが形になりました。また、過去には遊佐町のイメージキャラクター「米～ちゃん(べえ～ちゃん)」や「ライちゃん」も、この少年議会から誕生したそうです。

多くの自治体で、少年議会(子ども議会)は模擬一般質問にとどまる中、遊佐町では実際に政策を実現できる取り組みを継続しています。これにより、若い世代が町政に関心を持ち、主体的に関わるきっかけになっていると感じました。



アート交流イベントで完成した作品（遊佐町役場）

議会活動報告

災害発生時における議員の役割とは

令和7年度 町村議会議長・副議長全国研修会報告

5月27日、町村議会議長・副議長研修会が、東京国際フォーラムで開催され、鎌上議長と佐東副議長の2名が参加しました。研修会では講師3名による講演が行われ、主な内容は以下のとおりです。

●演題1「広域災害対応を含めた自治体の災害対応力強化に不可欠な防災DX」

内閣府政策統括官(防災担当) 高橋 謙司 氏

大規模災害の発生時に、広域的な災害対応力を強化するために、「防災DX」を活用し、自治体間の災害情報の共有化を図ることが重要であると説明がありました。

●演題2「平成からの災害に学ぶ復旧・復興まちづくりの課題」—自治体実務の立場から—

明治大学名誉教授 青山 侑 氏

復旧・復興のまちづくりにおいて政治家の

役割は大きく、国・都道府県・市町村間の連携や物資の調達など多岐にわたっているという説明がありました。

●演題3「災害と議会・議員の役割」

同志社大学名誉教授 新川 達郎 氏

議会の機能を保つために、議会BCP(業務継続計画)の体制を構築し、災害に強い議会・まちづくりを進める必要があることを学びました。

災害対策には課題が多いですが、いざという時に効率よく状況を判断するため、情報管理の知識や物資の置き場所、避難場所の調整が必要だと感じました。また、議員の役割は大きく、国・県との連携や物資の調達、何より日頃からの心構えが必要だと再認識しました。

フリーレンと地方議会を知る旅に出よう

議会の主権者教育リーフレットについて

三議長会(全国都道府県議会議長会、全国市議会議長会、全国町村議会議長会)では、将来の地域を担う子どもたちに、身近な課題を自分のこととして考え、議論し、合意形成を図ることの大切さや、地方議会・議員の役割等を周知するため、人気漫画『葬送のフリーレン』のキャラクターを使用した「議会の主権者教育リーフレット」を作成しました。

リーフレットは、「小学生・中学生向け」、「高校生・大学生向け」の2種類あり、右下の二次元コードから閲覧することができます。

また、議会に関する知識を深めるための「三議長会主権者教育」特設サイトが創設され、右下の二次元コードからアクセスできるようになっています。ぜひご覧ください。

小学生・中学生向け



©山田鐘人・アベツカサ/小学館

リーフレット閲覧
サイトはこちら



高校生・大学生向け



三議長会主権者教育
特設サイトはこちら



今後の調査・活動方針を協議

総務文教常任委員会報告(委員長：鈴木徹雄)／厚生産業常任委員会報告(委員長：渡辺博文)

6月13日、総務文教常任委員会および厚生産業常任委員会をそれぞれ開催し、今後の所管事務調査について協議しました。

総務文教常任委員会

- ①町有財産の現状と未利用財産の今後の対応について⇒継続して調査する
・消防ポンプ庫用地(あおば地区)
・旧ひまわり館
・旧柏倉家住宅駐車場用地
・旧勤労文化センター
- ②お達磨の桜樹勢回復事業について
⇒継続して調査する
- ③町内各種団体との意見交換会実施に向けて、
検討を進める
- ④政策提言書を提出するために検討を進める

厚生産業常任委員会

- ①町有財産の現状と未利用財産の今後の対応について⇒継続して調査する
・旧情報・物産館〇っと
・旧長崎養豚団地の町有施設
・渚ノ上道路等用地
- ②町内各種団体との意見
交換会実施に向けて、
検討を進める
- ③政策提言書を提出する
ために検討を進める



現在フリースペースの利用
を休止している旧〇っと

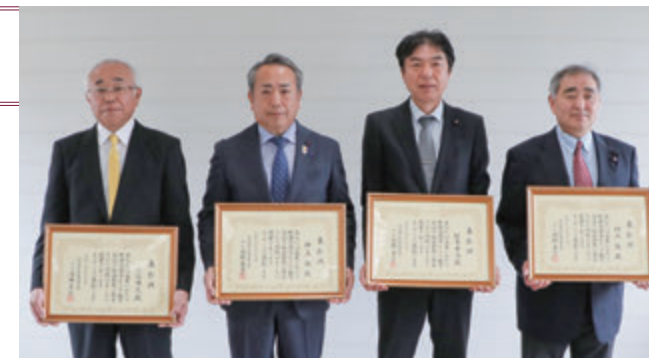
また、行政視察研修について協議し、両常任委員会での合同研修として、国施策について関係省庁の職員より説明を求めるとともに、課題解決に向けた意見交換会を行う内容とすることが決定しました。

自治功労者表彰

村山地方町村議会議長会表彰

○議長4年以上：鎌上 徹 議長

鎌上徹議長は、平成23年に初当選され、現在4期目となります。令和3年1月より、第26代議長を務めています。



○議員9年以上：佐東 幸治 副議長、渡辺 博文 議員、村山 隆 議員

佐東副議長と村山議員は、平成27年に初当選され、現在3期目となります。

渡辺議員は、平成23年に初当選後、令和元年、令和5年に当選され、現在3期目となります。

このたびの受賞、おめでとうございます。

議会活動報告

議会ダイアリー（議会3か月の動き）

※【 】内は参加者 ※議会全体の主な動きを抜粋して掲載しています。

●4月（前号掲載以降）

- 10日 議員懇談会【全議員】
14日 議会運営委員会【委員、正副議長】
全員協議会【全議員】
町議会4月臨時会【全議員】
→関連記事P 2
19日 県駅伝競走大会天童東村山チーム結団式【議長】
20日 春季消防演習
21日 中山町更生保護女性会総会【議長】
23日 議会活性化特別委員会行政視察【委員、議長】
→関連記事P 12
25日 「地域活性化起業人制度による派遣に関する協定」締結式【議長】
29日 県駅伝競走大会天童東村山チーム報告会【議長】
4月中 議会広報常任委員会（3回）【委員】

- 議会活性化特別委員会 第1小委員会【委員】
議会活性化特別委員会 第2小委員会【委員、議長】
中山町遺族会総会【議長】
27日 町村議会議長・副議長全国研修会【正副議長】
→関連記事P 15
30日 議会運営委員会【委員、正副議長】
豊田小学校運動会【豊田地区の議員】



- 5月中 議会広報常任委員会（3回）【委員】

●5月

- 7日 県および市町村長・議長会議【議長】
14日 村山地方町村議会議長会定例総会、表彰式【議長、議員】
→関連記事P 14
18日 中山総合スポーツクラブ定期総会【議長】
23日 中山町商工会総代会【議長】
24日 長崎小学校運動会【長崎地区の議員】



- 25日 中山町芸術文化協会総会【議長】
26日 全員協議会【全議員】

●6月

- 1日 中山町川向金比羅樽流し【議長】
→関連記事P 20
2日 県町村議会議長会臨時総会【議長】
7日 青少年育成町民会議常任委員会【議長】
11日～13日 **町議会6月定例会**【全議員】
→関連記事P 3～11
11日、13日 全員協議会【全議員】
13日 議会活性化特別委員会【委員】
→関連記事P 13
総務文教常任委員会・厚生産業常任委員会【各委員】
→関連記事P 14
20日 中山町老人クラブ連合会総会【副議長】
30日 「地域活性化起業人制度による派遣に関する協定」締結式【議長】
6月中 議会広報常任委員会（4回）【委員】

議長に武田啓一郎氏（山辺町）を再選

最上川中部水道企業団議会報告

6月6日、最上川中部水道企業団議会臨時会が開催されました。

議事に先立ち、構成市町選出議員の改選に伴い水道企業団議会議員が変更となったことから、議長・副議長の選挙が行われました。その結果、いずれも指名推選により、議長に武田啓一郎議員（山辺町）、副議長に渡辺博文議員（中

山町）の両氏が選出されました。

議第7号では、最上川中部水道企業団監査委員として、井上和行議員（山形市）が選任されました。

また、発議第1号の調査派遣に関する決議については、原案どおり可決されました。



議長 武田啓一郎 議員（山辺町）



副議長 渡辺博文 議員（中山町）

最上川中部水道企業団議会構成議員

議長 武田 啓一郎（山辺町）		
副議長 渡辺 博文（中山町）		
（中山町） 渡辺 史、田宮 昌幸 斎藤 眞一、鈴木 徹雄 須貝 勝司	（山辺町） 竹俣 朋 佐藤 利和	（山形市） 長澤 愛 井上 和行

新議長に中野信吾氏（山形市）を選出

山形広域環境事務組合議会報告

6月10日、山形広域環境事務組合議会臨時会が開催されました。

議事に先立ち、4月に行われた山形市、上山市議会臨時会で、組合議会議員が変更となったことから、議長・副議長の選挙が行われました。その結果、いずれも指名推選により、議長に中野信吾議員（山形市）、副議長に大沢芳朋議員（上山市）の両氏が選出されました。

議事については、議案1件が審議され、山形広域環境事務組合監査委員として、山形市の代

表監査委員を務める山川稔彦氏が新たに選任されました。



議長 中野 信吾 議員（山形市）



副議長 大沢 芳朋 議員（上山市）

山形広域環境事務組合議会構成議員

議長 中野 信吾（山形市）	副議長 大沢 芳朋（上山市）	
（山形市）荒井 拓也、小田 賢嗣、松田 孝男、仁藤 俊、渡辺 元、鈴木善太郎		
（山辺町）渡辺 裕二 樋口 和男	（中山町）茅田 慎二 村山 隆	（上山市）川口 豊 尾形みち子

みんなの議会 傍聴しませんか お気軽にお越しください。

次回の定例会は **9月4日(木)～12日(金)** の予定です。

お問い合わせ：中山町議会事務局 ☎023-662-4370



現役時代



Tボールを教える石川さん

野球と人と中山町が大好きな マルチプレイヤー！

No.25

まち・ひとインタビュー

「まち・ひとインタビュー」では、中山町が大好きで、町内外で活躍する元気な「若者」にインタビュー。第25回は、県内で数少ない社会人硬式野球クラブの運営を担う石川剛さんです。

これまでの野球に関する経歴を教えてください。

石川さん 小学2年生で野球を始め、山形中央高校、城西大学を経て、株式会社あわせ銀行（現きらやか銀行）に入行し、同銀行の硬式野球部に入り、30歳まで現役を続けました。野球部が休部になった後も、「もっと野球をしたい」という後輩たちの声を受け、発起人となり、山形市の硬式野球チーム「B-net Yamagata」を立ち上げました。現在は、町内のきらやか銀行のグラウンドで活動しています。

町内ではどんな活動をされていますか？

石川さん 子どものスポーツに協力したり、子ども会育成会の事務局役員を務めたりしています。長崎小学校ではPTA副会長をしていますし、町内会では会計も担当しています。

中山町のどんなところに魅力を感じますか？

石川さん とにかく「人」がいいんですよ。私は本当に中山町の人たちに良くしてもらっているのだから、大好きです。だから、自分にできることがあれば、なんでもしたいと思っています。

今後の目標や、町内でやってみたいことはありますか？

石川さん やっぱ私は野球が得意なので、野球を通じて子どもたちに夢や希望を持ってもらいたいですね。技術を教えるだけでなく、感謝の気持ちや謙虚さも伝えていきたいです。将来的には、地域のスポーツ環境をより良くして、子どもたちの可能性を広げる活動に関わっていきたいと考えています。



プロフィール

いしかわ つよし
石川 剛さん(43歳)
あおば在住
株式会社きらやか銀行遊佐支店勤務

埼玉生まれ山形第十中学校卒業。
2014年に妻の出身地でもある中山町に移住。同銀行野球部を経て、社会人硬式野球クラブ「B-net/yamagata」で指導、運営全般を担う。

な かなかやま
大好き！

広報モニターの



声
ワンポイントアドバイス

「議会だより」を町民の皆さまに興味を持って読んでもらえる内容にするため、感想・意見をいただいている「広報モニター」の声をご紹介します。

第33号から



- 表紙の風景と人物の写真の組み合わせがよかった。『桜と左沢線』、中山町民にはうれしい風景です。
- 予算のページは、写真だけでなくイラストを入れたことで、やさしい印象の紙面になって、読みやすくなりました。
- 一般質問の内容が一目でわかるような画像やグラフがあるのが良いと思います。
- 特集ページの、子どもたちが考えた内容が形になることを期待します。

今回もたくさんの声をお寄せいただきありがとうございました。ご指摘のあった件については検討させていただきます。ご意見、要望等ありましたら、どなたでもお気軽にご連絡ください。

モニター
随時
募集中

連絡先

TEL : 023-662-4370 FAX : 023-662-2538
Eメール : gikai@town.nakayama.yamagata.jp

2市2町

山形市・上山市・山辺町・中山町

イベント情報

①とき ②ところ ③内容 ④問い合わせ

※イベントは予告なく変更になる場合があります。

山形花笠まつり

- ①令和7年8月5日(火)～7日(木)
- ②山形市十日町・本町・七日町通り～文翔館前
- ④山形県花笠協議会 Tel.023-642-8753

山形大花火大会

- ①令和7年8月14日(木)
- ②打ち上げ場所：霞城公園
- ④山形大花火大会実行委員会 Tel.023-632-8665

大相撲山辺場所

- ①令和7年8月10日(日)
- ②山辺町民総合体育館
- ③山辺町では初となる大相撲巡業を開催。
- ④大相撲山辺場所実行委員会事務局 Tel.023-667-1110

日本一の芋煮会フェスティバル

- ①令和7年9月14日(日)
- ②馬見ヶ崎川河川敷
- ④日本一の芋煮会フェスティバル協議会事務局 Tel.023-622-0141

上山城ナイトミュージアム

- ①令和7年8月11日(月・祝)
- ②上山城
- ④上山城郷土資料館 Tel.023-673-3660

第4回中山すももウォーキング

- ①令和7年9月15日(月・祝) 9:00～正午
- ②中山町地内
- ③みんなで気軽に町内を歩くスポーツイベント。
- ④中山町教育委員会 Tel.023-662-2235

蔵王ペンション村オープンガーデン～山の秋の庭

- ①令和7年9月27日(土)～10月19日(日)
- ②蔵王ペンション村
- ④ペンションあづる Tel.023-679-2329
- ペンションステラ Tel.023-679-2320

元祖全国芋煮会 in 中山2025

- ①令和7年10月12日(日) 10:30～
- ②最上川中山緑地イベント広場(予定)
- ④中山町観光協会事務局 Tel.023-662-2114

やまのべ街なかウォーキング

- ①令和7年10月13日(月・祝)
- ②山辺町内
- ③街並みや自然に触れ、特産品を堪能できるウォーキングイベント。
- ④山辺町美力発信課 シティプロモーション係 Tel.023-667-1110



今号の表紙

中山中学校2年職業体験 コメ作りを知る

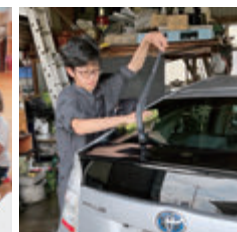
5月14日～16日の3日間、中山中学校の2年生が町内外36か所の事業所で職業体験を行いました。

この農園では、省力化とコスト削減が見込める田植え法である種もみの直播作業に挑戦。「仕事には挑戦がなければ成長はないんだよ」と、大切な心構えを学んでいました。

生徒たちは、幼稚園や整備工場など各所で地域の方々とはふれあいながら、働くことの意義やさまざまな仕事があることを実感していました。



幼稚園



整備工場

スポーツとフルーツ 伸びゆく町 なかやま

楽しい仲間たち

—明るい 豊かなまちづくりを目指して—

第8回

かわむかいこんぴらたる

⑧ 中山町川向金比羅樽流し保存会

六十里越街道と最上川舟運が交差する交通の要所、山形県中山町長崎地区。ここには、地域に息づく豊かな文化遺産があります。そのひとつが、毎年6月1日に行われている「金比羅樽流し」です。

この行事は、讃岐（現在の香川県）にある「金刀比羅宮」への信仰に由来しています。金刀比羅宮は、航海の守護神として船乗りや海運業に関わる人々から、災難除け・海上安全の神として信仰されてきました。江戸時代中期には、船頭や金比羅道者によって「金比羅信仰」が全国へと広められたとされています。

その信仰に関連する習俗の一つが「流し樽」です。これは「金比羅樽」と呼ばれる小さな樽に酒を詰め、川や海に流すというもので、やがて誰かの手によって金比羅神社に届けられ、奉納されると信じられていました。

天保14年（1843年）の長崎村絵図には、川向地区に18軒の家が描かれています。また、地区内にある「金比羅山」と刻まれた石碑には、大正3年（1914年）3月10日という建立の日付が記されており、これが「流し樽」の始まりと考えられています。

この「金比羅講中」の行事は、長年にわたり地域の人々によって受け継がれてきましたが、

なかやま議会だよりの最終ページは、町内の各種団体を紹介してきました。

連載シリーズ第4弾は、「楽しい仲間たち 一明るい豊かなまちづくりを目指して」と題し、町内で活躍・活動しているさまざまなサークル、ボランティア団体を紹介していきます。

今回は、「中山町川向金比羅樽流し保存会」です。



▶ 舟運の安全を祈願
 6月1日 長崎光秀
 院住職によって行われ
 ました

高齢化や戸数の減少により継続が困難となりました。そこで平成25年、町内の有志を中心に「中山町川向金比羅樽流し保存会」が結成され、以後は保存会によって毎年祭事が執り行われています。

かつては山形県内のさまざまな地域で行われていた「流し樽」ですが、今ではこの中山町だけにその伝統が残されています。

♪こんぴら船ふね 追手に帆かけて
シュラシュシュシュ～

この懐かしい歌とともに、金比羅信仰にまつ
わる文化を、これからも次の世代へと伝えてい
きたいものです。

会長代行：後藤勇三郎
 事務局：東海林 洋
 問合せ先：☎090-9630-5650

なかやま議会だより

No.34

発行日：令和7年7月15日

発行：中山町議会

〒990-0492 山形県東村山郡中山町大字長崎120番地

TEL:023-662-4370 FAX:023-662-2538

E-mail:gikai@town.nakayama.yamagata.jp

印刷：大場印刷株式会社

議会だよりでは、二次元コードの活用など、デジタル機器への対応を進めています。また、議会活性化特別委員会の設立など、議会活動を活発にすることが「議会だより」の充実につながるという思いを強く抱いて活動しています。

これからも、町民の皆さまの率直なご意見をいただきながら、ともに作り上げる広報紙を目指してまいります。

(佐東幸治)

議会広報常任委員会
委員長 村山 隆
副委員長 渡邊 史
委員 佐藤 幸治
委員 田宮 昌幸
委員 冨田 慎二

編輯後記